

これまでの歩み

昭和22年4月	学制改革により、田山村立田山中学校を創立。田山小学校に併設し、館市、花輪鉱山に分教室を設置
昭和25年12月	旧校舎が落成
昭和27年4月	館市、花輪鉱山両分教室を廃止、独立校となる。
10月	校歌を披露
昭和28年3月	27年度卒業生が校旗を寄贈
昭和31年10月	荒沢村、田山村の合併により、安代町立田山中学校と改称
昭和38年4月	田山、館市、花輪鉱山の各中学校を廃止。3校統合による安代町立田山中学校を設置
昭和40年3月	統合田山中学校新校舎に移転
昭和41年3月	裏部分校を廃止
昭和52年9月	校旗更新
昭和53年1月	創立30周年記念式典ならびに祝賀会を開催
昭和63年11月	校舎の大規模改修が完了
平成元年11月	体育館の改築工事が完了
平成8年10月	社会福祉功労県知事賞を受賞
平成9年3月	教育目標を改定。校訓「進取・友愛・克己」を制定
9月	創立50周年記念式典、祝賀会およびモニュメント除幕式を開催
平成11年11月	福祉教育推進厚生大臣感謝状を受賞
平成17年9月	西根町、松尾村、安代町が合併し、八幡平市立田山中学校と改称
平成24年9月	ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰を受賞
平成25年3月	田山中学校閉校



テーブルマナー教室が開かれていました(年代不明)



今も昔も運動会は盛り上がります(昭和58年)



タイムカプセルが埋められました

刻まれていて、その脇に手紙や文集などを収めたタイムカプセルが埋められました。カプセルは、9年後の2022年8月に開封を予定しています。

その後、新安比温泉静流閣で思い出を語る会が開かれ、これまで学校の発展に貢献した功労者ら16人に感謝状が贈られました。

田山中学校は、昭和22年に創立。現在の校舎には、昭和40年に移転し、これまで六十六年の歴史を刻んできました。校訓は、「進取・友愛・克己」で、その中の「友愛」が表すとおり、福祉活動が活発な学校でした。りんどう苑の訪問やふれあい弁当の配達などを長年続けていて、平成24年9月には、厚生労働大臣表彰を受賞する榮譽に輝きました。

また、スキー競技の成績は全国に名を残すだけではなく、卒業生としてアルペールビル冬五輪ノルディック複合団体金メダリストの三ヶ田礼一氏を輩出するなど、スポーツにも力を注いできた学校でした。これまで、4715人の卒業生を送り出しています。

平成25年4月からは、安代中学校に統合となります。



田山中学校 校歌

作詞・高橋九一
作曲・小山竜子

一、久遠の神秘 秘めもちて
巍然とそびゆる 矢神岳
麓に映ゆる 学び舎に
自由の鐘は こだます
ああ田山中学 我等が母校

二、智徳の谷は 深くとも
千里の峰は 高くとも
あこがれ集う 若人を
彼岸に渡す 虹の橋
ああ田山中学 我等が母校

三、春秋色は 移れども
変らぬ永遠の 愛の道
明るき庭に 手をとりて
清めん友よ 善と美を
ああ田山中学 我等が母校

地域と共に歩み 支え合った66年に 感謝し歴史を閉じる

田山中学校の閉校式は3月24日、田山小学校体育館で開かれました。式典には、卒業生や関係者ら約230人が出席し、地域と共に歩み続けた同校の閉校を惜しみました。

式典では、全校生徒23人が学び舎である田山中学校の歴史を振り返り、親子で同じ学校を卒業したことに、感慨にふける場面などが見られました。式典終盤には、出席者全員で校歌を斉唱。佐藤雄心校長から田村市長へと校旗が返納され、六十六年の歴史に幕を閉じました。

式典後は、田山中学校校門付近で、記念碑の除幕とタイムカプセルの埋設が行われました。碑には「誇りと伝統 永遠に輝け 田山魂」と



全校生徒23人が気持ちを込めて「仰げば尊し」を合唱しました

田山中学校閉校